

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	29	—	事業名	青少年健全育成事業	担当部課	くらし文化部 生涯学習課
------	----	---	-----	-----------	------	--------------

基本情報	総合計画	基本方針	4	文化をみがき、人が輝くまち			
		分野別項目	3	輝きを持った青少年の育成を支える			
		施策の進め方	3	青少年が個性を発揮できる活動の機会づくり			
	まちづくり行程表	フラッグ	—				
		政策分類	—				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 青少年の身近なことを題材にした作文を募集する。審査の結果、優秀と認められる作品を表彰し、優秀作品集としてまとめる。作品集は、中学校へ配布する。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市内中学校2年生					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 青少年の社会性、自主性を養い、健全育成を図る。					
	事業を構成する事務事業	① 青少年健全育成作文コンクール事業	改善・見直し	④			
		②		⑤			
		③		⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)	千円	決算	予算			
決算							144
人件費(B)	千円	決算					1,223
総コスト(A)+(B)	千円	決算					1,367

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A 青少年健全育成作文コンクール作品応募数	点		目標	489	495	503	554
実績				449	201	197	27	
B			目標					
			実績					
C			目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 市内各中学校の生徒数								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 愛知県等の主催する事業で、県内のほとんどの自治体が参加している。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 近年の状況は芳しくない。29年度の実績向上に向けて、市内各中学校に積極的な参加を呼びかけていく。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 継続的に市内各中学校に積極的な参加を呼びかけていく。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 中学生が、広い視野と柔軟な発想や創造性、物事を論理的に考える力や自らの主張を相手に正しく理解してもらう力などを身に付けるための契機とするため、継続的に市内各中学校に積極的な参加を呼びかけていく。
--------	---

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	青少年健全育成事業										
番号	①	事務事業名	青少年健全育成作文コンクール事業								

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市内中学校2年生に対して、愛知県等が主催する青少年健全育成にかかる作文コンクールの募集作品を募集する形で実施している。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 青少年の社会性、自主性を養い、健全育成を図る。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				231
		決算				144

3. 活動推移

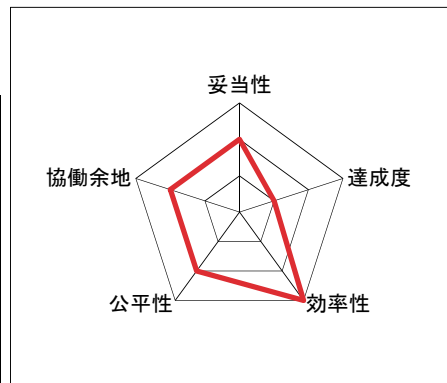
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
青少年健全育成作文コンクール作品応募数	点	目標	489	495	503	554	
		実績	449	201	197	27	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 愛知県等の主催する事業で、県内のほとんどの自治体に参加している。
--

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	1
効率性	3
公平性	2
協働余地	2



6. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 事業については、愛知県等からの依頼により実施している事業であるため、硬直的（当市が主体的に変化をつけるものではない）である。そのため、募集方法について、中学生が、広い視野と柔軟な発想や創造性、物事を論理的に考える力や自らの主張を正しく理解してもらう力などを身に付けるための契機となるという事業趣旨を、継続的に市内各中学校に伝え、積極的な参加を呼びかけていく。
